

あなたの人生を
共に豊かにしたい



Q 開業して、どんなところでやりがいを感じますか？

玉里

「儲けたい！」よりも、「お客様を喜ばせたい！」という気持ちが何よりも重要！
お客様に「美味しい。」「また来ます。」と言って頂けることが嬉しくてたまりません。
毎日買いに来てくれる常連の方とコミュニケーションをとることも楽しいです！
常連様が多いことは、本当に美味しいと思って頂けているのだと自信に繋がります！
やはり人と人のつながりは大切だと実感します。

Q 経営をしていて面白いと思うのはどんなところですか？

玉里

お店のことは、全て自分でやれるということです。お客様に接することもお金のことも全て。
私のお店は、人通りがなくシビアな営業になると思っていましたが、今では全店のトップクラスの
売上だと本部の方に聞きました。当初考えていた以上に反響があり、職員一同充実した毎日を
送らせてもらい感謝しています。独立する前よりも、スケジュールの段取りをしっかりしないと
回らなくなってしまうので、いまは30分単位で予定を入れて動いています。
地元に貢献できている充実感はものすごくあります！

Q 今後の目標をお聞かせください。

玉里

もちろん売上も重要かもしれません、お客様がからあげを食べて『おいしい』と言って
いただくのが一番嬉しいですし、重要な気持ちはありますね。クレームも含めてお客様の声に耳を
傾けないといけない。最後はやっぱり人と人。接客業ですからクレームが来ることもありますが、
そういう声にも耳を傾け、お客様に満足いただきたいという気持ちが何よりも重要だと思います。
コロナ禍でもそういうスタンスのお店は、多くのお客様が来ています。
今後の目標は、県外や海外など展開をしてみたいです！

Q 最後に

玉里

開業にあたり、有喜地区での開業を快く承諾して頂いた諫早店のオーナー松本社長。愛野店
を立ち上げ引き継ぎまでしっかりやって頂いた宮副さん、徳永さん、福田さん。いつも色々
なアドバイスを適切に頂ける福田会長。そしていつ何時も現場にかけつけてくれる平野社長。
全ての事が1枚の奇跡の様に重なり合い、立ちあげることができた愛野店と有喜店。
この場を借りて深く感謝を申し上げます。

平野社長と共に、最初に揚げた長崎のソウルフードとして秘密のケンミンショーに社長を出演
させる事、日本中の人々が福まん家のカラアゲを美味しいと言ってくれる日を願っております。

感謝。



旗通りの立役者の田原さん。
田原さんがとても忠実なのは
玉里さんが、仕事に、人生に
熱中し、楽しむ事ができる人
だから、それを見て感化された
一番の人だからかもしれません。



インタビュー後、
本部に帰ってから
「からあげ！」と
大声で叫びながら
旗通りに挑戦して
いました！
完全に感化されて
帰ってきました！